



## 引き継ぎ 高まる チーム一小

教務主任

去る1月30日、国立第五小学校体育館で「国立市教育フォーラム」が行われました。国立市の全11校が、市が掲げる「一人一人がその子らしくいられる教育」について、各校の取組を伝え合う会です。そこで報告した、現在の一小での取組について、地域・保護者の皆様に改めてお伝えします。

### 取組① 互いを尊重し合う人権教育の推進

学校探検や点字体験、車いす体験、盲導犬ユーザーの講話など、各学年で互いを尊重し合う人権教育を進めています。多様な人との関わりを通して、相手のことも自分のことも尊重できる豊かな視点を育くんでいます。

### 取組② 異学年交流の充実

にこにこ活動や運動会・展覧会での複数学年での活動を通して、異学年交流を深めています。多様な児童が同じグループの中で互いを思いやり、仲良く活動を楽しむ姿がたくさん見られています。高学年への憧れの醸成にもつながっています。

### 取組③ 交流及び協同学習の推進

杉の子学級児童が交流学年で一緒に学習をしたり、1・2年生と「なかよくなるう集会」を行ったりしています。児童同士の交流を深めることで、自然な形で互いを認め合い、理解し合う環境づくりをしています。

### 取組④ 児童主体の学校行事の充実

行事や委員会・クラブ活動、移動教室など様々な場面で児童のアイデアを集め、主体的な活動を充実させています。児童が「自分たちが一小をつくっている」と感じられることで、学校への愛着も高まってきています。

私が国立一小に赴任した5年前はコロナ真っ只中で、先ほど紹介した取組はほぼ全て制限されていました。私たち教員は、自由に話すことすら制限されている子供たちを盛り上げようと、時には金髪をかぶって英語を話したり、骨格標本をドアから登場させて理科の学習を始めたりしました。教員からのアクションが全てだったのです。時は流れ、子供の意見を実現するためにはどうしたらいいかを考える時代になりました。この数年間の学習活動の広がりや深まりを振り返ると、感慨深いものがあります。

先日の学校評議員会でも、委員の方から「今の国立一小に、当時の私の子供を通わせたい」という大変有難いお言葉をいただきました。

児童一人一人が輝くための学校の取組を、地域・保護者が温かく見守り支えてくださっている、市に誇れる「チーム一小」の結末。これをさらに引き継ぎ高めていくには、まずは学校からの発信が重要であると考えています。

#### 得られた気付き

- 人との関わり合い → 認め合い(相互理解)
- 児童主体の教育活動 → 参加意識の向上

#### 教職員・地域・保護者の連携

チーム一小  
～強みを生かした学校運営～

#### 来年度からの学級編制について (校長より)

本校では、これまで2年生から3年生、4年生から5年生への進級時に学級編制(クラス替え)を行ってきましたが、来年度からは1年生から2年生への進級時にも学級編制を行います。新年度は、新2年生、新3年生、新5年生が新編制となります。

1年生は、入学後の小学校生活の中で大きな成長があることから、児童の実態を見直し、新たな学級集団を編制することにより、一人一人の子供たちが、より安心し、落ち着いて学校生活を過ごすことができると考えています。ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



# 各学年の教育活動の紹介

## 杉の子学級

1月の終わりに、卒業生の6年生に調理実習のリクエストを聞きました。6年生からは「中華麺のソース和え（やきそば）」がリクエストされたので、バレンタインデーの日に調理実習を行いました。

メニューは「中華麺のソース和え（やきそば）」「チョコチップアイスのチョコレートがけ」「グリーンサラダ」です。3つのチームに分かれて、レシピを聞きながら、美味しく作ることができました。お替り分もあつという間になくなり、片付けは高学年が協力してやりました。卒業生の素敵な思い出の1つを作ることができました。

## 1年生

3月5日（水）の6年生を送る会に向けて、お世話になった6年生へお礼の言葉や手話を付けた歌の練習もしています。歌は、「ありがとうの花」です。

6年生への贈り物は、「しおり」です。入学式、給食、掃除の手伝い、にこにこ班の遊びなど、色々、お世話になったお礼の気持ちを「しおり」に書きました。

## 2年生

生活科では、まち探検で谷保駅北口「ダイヤ街」の様々なお店に分かれて見学をしました。インタビューで聞いたことを、グループで協力してまとめ、紙芝居や劇、クイズなどの形で発表しました。お店の人や多くの保護者の方に参観していただき、子供たちが自信をもって発表する姿に成長を感じました。また、算数のかけ算では、1～9の段の九九を覚えてきました。何度も何度も九九を一生懸命唱える姿がみられました。担任のテストに合格し、最後に校長先生のテストがあります。3月までに全員合格を目指して頑張ります。

## 3年生

1年間を通して、総合的な学習の時間に矢川と城山の自然を観察してきました。春、夏、冬、どんな動植物がどこにいるか予想を立てて出かけました。

それぞれに決めて、動植物の名前や生態を徹底的に調べ、専門的な知恵を身に付けた「ミニ博士」として友達に教えることで、多くのことを学びました。調べたことは紙芝居風の資料やクロームブックのスライドにまとめ、発表することができました。ゲストティーチャーの国立桜守の大谷先生の話を生懸命聞いて学びをさらに進めて、自分たちの郷土への愛着を一段と深めることができました。

## 4年生

総合的な学習の時間「ひまらやタイム」で『地域の伝統行事引き継ぎ隊』として、谷保天神太鼓の方々に、お祭り等で披露される太鼓の演奏を教えてくださいました。昨年度と違う演目、違った陣形を考えてくださり、子供たちも張り切って参加しました。

練習初回は苦戦していた子供たち。4回の練習を経て、2/17(月)朝会時は全校児童と先生方へ、2/20(木)は保護者の方々と向陽保育園の園児さんたちにも聴いていただきました。緊張した様子でしたが、終わった後は達成感に溢れた顔をしていました。

来年は5年生。高学年としていろいろな活動に参加する心構えを育てていきます。

## 5年生

1年間、高学年として6年生と一緒に学校を支えてきました。会社活動や委員会活動では、経験を重ねていくにつれて主体的に企画を考えることができるようになりました。参加する子供たちも協力的に話を聞いたり、一丸となって盛り上げたりしました。

来年度に向けて、国立第一小学校の伝統として受け継がれてきた校旗掲揚、朝会での挨拶などを6年生から教わりながら引き継いでいます。5年生は卒業式には参加しませんが、これまで一小を引っ張ってきてくれた6年生のために合奏を録音した入退場の曲を贈ることにしました。6年生への憧れと感謝の想いを詰め込んで、卒業式に届けます。

## 6年生

6年生は、最高学年として、一小の顔となって活動してきました。「下級生のお手本になりたい」「頼られる6年生になりたい」とやる気に満ち溢れて迎えた春。1年生のお手伝い、校旗の掲揚、あいさつなど、いろいろな場面で一小のために全力で取り組んでいました。委員会やクラブでは、委員長やクラブ長を中心に、活動内容を考え、楽しく豊かな学校生活にするために一小を支えてきました。

長いと思っていた小学校の6年間も、残り僅かとなりました。入学してから今日まで、この子供たちを支え、見守り、導いてくださった方々への感謝の気持ちを最後まで行動で示し、小学校生活を締めくくることができるよう、担任一同、指導していきます。

## 特別支援教室「はばたき」

巡回指導教員

特別支援教室「はばたき」では、自分の考えや思ったことを言葉でなかなか伝えられない、友達とのコミュニケーションがうまくいかない、興味や気になったものに気をとられてしまう、怒りや不安のコントロールが困難といった苦手さのある児童を対象として指導を行っています。

はばたきの指導は、国語・算数といった教科指導ではなく、自立を目指して、学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする取組を促す教育活動「自立活動」です。今年度の小集団指導では、友達の意見を聞いて相づちをうってみる、みんなの意見を一つにまとめるときに譲る・交渉する方法を使ってみる、勝ったとき負けたときにはどのように過ごしたらいいのかわかり実践してみる、ボールを狙ったところに転がそうとすることで体の使い方や力のコントロールの練習をするなどの活動を行ってきました。このような様々な活動の中に児童一人一人の課題に合わせた目標を設定し取り組むことで、達成感を味わい在籍学級での自信につながるようにしています。

「はばたき」での『学習内容や方法に興味がある』『子供の困り感について相談してみたい』などがありましたら、学級担任を通してご連絡ください。

### 転出や転居についてのお願い

来年度の学級数や教室配置の参考とするため、現在お住いのご自宅から転居される場合、また転校することが決まっている場合は、早めに学校・担任にお知らせください。その際、転校する時期、転居先等など、連絡帳やお電話等でお伝えください。